

ふくろう新聞

新年あけまして

おめでとーございます。

淡路ふくろうの郷施設長

狭間 孝

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
旧年中は島内島外の皆さまに格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年、淡路ふくろうの郷開設20周年を迎えます。開所式での入居された皆さまや職員の晴々とした表情の写真をみると「負けへんで！みんなの願い今、実現！」建設運動の



2006年4月1日開所式



2007年1月28日地域交流会設立総会



社会福祉法人
ひょうご聴覚障害者
福祉事業協会

一人ひとりを大切に(人権)
ともに生きる(共生)

<発行>

特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会

〒656-0002
洲本市中川原町中川原28番地1
TEL: 0799-25-8550
FAX: 0799-25-8551



右のQRコードから
ホームページをご覧ください。

初夢は見ましたか。昔は「一富士二鷹三茄子」と言い、夢に見ると縁起の良いものとされていた。慌ただしい昨今、また、泊りや明けのある仕事の人はそんなことを考える暇もない。災害や〇〇有事など明日の事も分からない時に、夢見が良かったと言っても説得力がない気がする。それよりも、自らの仕事と役目の中で如何に「自己実現」に向けて励んでいくのか。「二年の計は元旦にあり」ではないが、一年の目標を定めておく方が賢明だ。

大きな輪を思い浮かべられます。開設以来、撮り続けてきた写真をあらためて見てみると中川原地域の皆さまと共に生きてきた様子がよく分かります。開設草創期の職員の若い事！地域の竹藪に行き、筍を掘る入居者の生き生きとした笑顔。写真から施設を創っていく力を感じることができました。

阪神淡路大震災では兵庫の聴覚障害者を支え続けた全国の仲間が奮闘する様子や「負けへんで！同じ仲間の老人ホームが欲しい」と手話で訴えた建設運動の記録集は現在でも良い学びになります。



「いのちを生きる場」を拓く取り組みを進めてきました。さて、時代は5年10年周期で変わっています。最近の5年間は世界中を襲った新型コロナウイルス感染症のパンデミック。地域住民、家族を遮断し、感染からいのちを守ることに明け暮れ、これまで積み重ねられてきたつながりが途絶えた。コロナ感染症は2類相当から5類に変わり、現在、開かれた施設へ戻している途上となっています。

20年を迎え、皆さまの支援で生まれた施設建物とその設備は老朽が進んでいます。施設の改修、長寿命化工事が必要となっています。運営に必要な介護報酬収入は厳しく、改修資金が非常に乏しい状況です。入居者の皆さまが安心して暮らす施設環境、居室や入浴設備等を新しくするため、皆さまに改修費用支援をお願い申し上げます。

最後に、皆さまにとって笑顔あふれる年となりますようお祈り申し上げます。



2006年4月 中川原の春祭り だんじり



中川原の春 菜の花畑



クリスマス会

毎年恒例、ふくろうクリスマス会が12月17日(水)に行われました。午前、午後に分かれて、ふくろうふれあい座のお楽しみ会があり、クリスマスプレゼントを用意しました。入居者さまと職員が参加した抽選会が行われ、カスタネットを叩きルートのプレゼント(クリスマスにちなんだ飾り)をお渡ししました。当たったプレゼントは、お部屋や車いすに飾って楽しまれています。

抽選会の後には、シークレットゲストとして、マツケンに扮した作業療法士の熊谷職員が登場し、ダンスに皆大笑い!!とても喜ばれていました。



昼食は海鮮ちらし、茶碗蒸しなどが提供されました。皆さまお寿司が大好きなので嬉しそうに召し上がっていました。

おやつ時間、サンタとトナカイが登場し、おひとりおひとりプレゼントのプリンをお渡ししました。皆さまの嬉しそうな表情を見れば、職員も楽しませていただきました。

来年も楽しんでもらえますように。インスタにもアップしていきますので是非ご覧ください。

(生活援助係 中村久香)



インスタ始めました!



ひょうご聴覚障害者福祉事業協会
Instagram

フォローお願いします



ふくろう物語 堂上 晋弘様



堂上晋弘氏（どうのうえ・くにひろ）

は、昭和 12 年 11 月 2 日、旧一宮町入野山田（現・淡路市入野）に生まれる。代々続く造り酒屋の家に、三人姉弟の長男として育つ。一宮町立江山中学校、洲本高校を卒業後、東京農業大学へ進学し、醸造について専門的に学んだ。大学卒業後は、家業を継ぐための修行として神戸市東灘区の魚崎酒造に入社。技術職として勤務し、日本酒の品質管理や分析業務に携わり、とりわけ銘柄「千緑」の研究に力を注いだ。「千緑」は戦前には「戦力」の名称で販売され、戦後に改称された酒であり、現在は廃業により製造されていないものの、堂上氏は今もなお当時の酒造りへの思いを大切にしている。

24 歳で淡路島に戻り、実家の造り酒屋を手伝いながら、日本酒「郡心」の製造に従事した。「郡心」は父が命名した酒で、「津名郡の心」を意味し、地域への思いが込められている。その後、酒造業から販売業へと転じ、津名町志筑にて酒店を経営。「鳴門大橋」「淡路島」の銘柄を特許取得の上で販売し、地域名を冠した酒として親しまれた。私生活では、28 歳の時に大阪出身で当時広田緑町在住のえつ子氏と結婚。共通の知人の紹介によるものであった。多趣味な人物としても知られ、兵庫県野鳥の会の初期会員として自然観察に親しんだほか、高校時代から油絵に取り組み、芸術への関心も深かった。自身で制作するだけでなく、他の作家の作品にも目を向け、志筑の酒店の一角で作品を紹介・販売することもあったという。現在は車椅子を自ら操作しながら、施設内での交流や職員との会話を楽しみ、穏やかな日々を過ごしている。

「ふくろう祭り」では、来賓として訪れた友人の平野氏と楽しそうに話されたり、穏やかな日々を過ごされておられます。今後も穏やかで充実した日々を 1 日も長く過ごしていただけるようサポートさせていただきたいと思えます。

（生活援助員 坂本昌弘）



1 月ふくろうの暮らし

- 1/1(木) 互礼会
- 1/6(火) 演劇講座
- 1/7(水) 誕生日会
- 1/10(土) 回想法
- 1/11(日) 淡路聴力障害者協会新年会
- 1/12(月) 初詣
- 1/13(火) ふくろう工房(作業)
- 1/14(水) 手話講座
- 1/15(木) とんど焼き
- 1/17(土) 書道講座
- 1/20(火) 絵手紙講座



長男様 5 歳の時、堂上様が描かれたご子息の人物画

淡路ふくろうの郷 年末年始の様子

★しめ縄作り



★2026年を占う漢字・餅つき



笹津ご住職、中川原地域交流会の皆さま、ご協力ありがとうございました。

★互礼会



新年の挨拶と年男・年女7名の方のお祝いをしました。

昼食はおせち、赤飯、お雑煮を食べました。

今年はどんな年になるかな？



第8回社会生活教室

「知っておきたい交通ルールについて」 ～自転車の罰則強化について～

11/24 洲本市健康福祉館
参加者：15人

淡路聴覚障害者
センター便り

洲本市港 2-26
洲本市健康福祉館 3 階

自転車に反則金

すればよいかのポイントを解説いただきました。本日の事故さながらの映像に恐怖を感じました。

来月 4 月から自転車のルール違反について青切符が導入され、原付免許が取得できる 16 歳以上が対象となります。携帯電話の使用等は一万二千元、イヤホンの使用や一時不停止、無灯火は五千元の反則金が科せられます。

令和 8 年 4 月から自転車のルールが厳しくなります。それに先立って、洲本警察署・交通課の岡崎氏・小林氏の二人に来ていただき話をうかがいました。まずは DVD を見せていただきました。音楽を聴きながら、傘を差しながらの走行、自転車の 2 人乗りは危険である。自転車と車の衝突や横断歩道での死角による事故、バイクと自転車の事故などについて、事故が起こった原因やどのように対応

です。反射材のたすきなどが自宅で眠ったままになっている。最近は見かけることが少ないが活用した方が良いでしょう、などの意見もありました。まずは自分の命を守るために必要な行動を取ることが大切であることを学びました。



(吉川)

吉岡孝雄さん(66歳)は聴覚と視覚に障害があります。今日は吉岡さんが通所している就労継続支援 B 型事業所おのころの家を訪問しました。吉岡さんはろう学校、地域の学校、中学校で再びろう学校へ。地域の高校を卒業後、鉄工所に勤務していましたが、視力低下が進み、盲学校で学び、整体院を開業しています。お客さんも高齢化に伴い減少したため店をたたみ、現在、おのころの家に

家庭訪問 北淡・一宮地区



★丁寧に作業に取り組む吉岡さん

り組んでおられるのと。仕事は楽しいですかとお聞きすると少し照れながら「まあまあ普通」とのお答えが帰ってきました。これからも自分の力を発揮してほしいと思います。

(瀬田)



★吉川相談員とは同級生。触手話で友達のことなど話がはずみます

週 4 日通所されています。作業内容は布の型取りや、玉ねぎの根切りなどを行っています。職員から話を聞くと、物の扱いがとても丁寧で、自分の作業が正しくできているかを逐一チェックされるなどとても几帳面な性格。コツコツと仕事に取

12/6 本番 頑張ってください!!

手話通訳者全国統一試験対策講座

10 月 12 日から 11 月 30 日まで全 14 回講座が平松弘子講師のもと開催され、6 名が修了しました。

受講者はそれぞれ「毎回色々な気づきがあり、とても勉強になりました。」「聞こえない人に通じる表現を改めて考えるよい機会になりました。」「おかげ様で少し自信が持てるようになりました。」「本番は精一杯頑張ります。」「来年はこの講座を受けることがないよう試験頑張ります。」など頼もしい言葉が聞かれました。(岡本)



中川原 地域ふれあい便り

発行団体 : 中川原高齢者・障がい者地域ふれあいセンター運営委員会
住所 : 〒656-0002 洲本市中川原町中川原 222-2

TEL:0799-28-0990 又は 28-0991 FAX:0799-28-0992

🎄 ハートを奏でる会とさくらコーラスさんにお越しいただきました 🎄

12月11日(木) オカリナの演奏に合わせて、「ふるさと」や「富士山」「手のひらを太陽に」「りんごの唄」など、利用者さんや地域のみなさん一緒に合唱し、楽しい時間を過ごしました。ハンドベル、手話歌や大正琴の演奏もあり、聴いておられる皆さんもかわいらしいマラカスを振って盛り上げて下さいました。



デイサービスの取り組みで
壁紙作りをしました



皆さんへクリスマスプレゼント



作品作り お正月飾り

デイサービス桜ヶ丘へ来られませんか？

	月	火	水	木	金
ご利用いただける曜日	○	○	○	○	○
入浴いただける曜日	○	○	○	○	○

お問合せは 0799-28-0993 吉川まで

農作業の取り組み 「玉ねぎ苗植え」

農業班では、来年 4 月からの収穫に向けて、11 月 7 日よりタマネギの植え付けを開始しました。レクスター、七宝早生、ターザンと順調に植え進め、12 月末時点で全体の約 80% が完了しています。



昨年は高温の影響で苗づくりに苦労し、植え付け後も雨不足が続くなど心配が尽きませんでした。現在はしっかりと根を張り、順調に育っています。今後も追肥や草引きなど、収穫までの作業は続きますが、丁寧に育てていきたいと思っています。

今年も 4 月から販売を予定しておりますので、その際はぜひご注文いただければ幸いです。

(おのころの家職員 矢田)

レク動 「縁起物のだるま作り」

12 月 22 日(月)のレクリエーション活動では、縁起物のだるま作りに取り組みました。

風船を好みの大きさに膨らませ、新聞紙と赤い折り紙を順に隙間なく貼り重ね、マジックで描いた目・眉・口のパーツを貼って顔を作り、最後にかまぼこ板の土台に乗せて完成させました。作業前は「貼るだけなら簡単そう」

と話していた皆さんも、実際に取り組むと新聞や折り紙を丁寧に貼る作業に時間がかかり、疲れたり諦めそうになったりしながらも、最後まで集中して取り組まれました。完成後は「どこに飾ろうかな」「願い事が叶ったら片目を入れよう」などと嬉しそうに話され、作品を手にした笑顔が広がっていました。それぞれ大きさも表情も異なり、個性豊かで味わい深いだるまが揃い、とても楽し

い活動となりました。



(おのころの家職員 東田)

「誰ひとり取り残さない社会をめざして」

12 月 13 日(土)、南あわじ市市地区公民館にて「淡路島でこれからの暮らしを考えるフォーラム」が開催されました。「共に生きる～おたがいさま中川原活動を通じた地域住民との関わり～」について発表する機会を頂戴しました。30 名ほどの参加者を前にお話しすることに緊張もありましたが、活動の意義を改めて見つめ直す貴重な時間となりました。

基調講演で示された「社会的包括とつながりづくり」という課題は、私たちの取り組みと深く重なるものであり、日頃の農業活動や委託作業、「おたがいさま中川原」活動を通じて、地域の困りごとに寄り添いながら仲間が成長していく姿を振り返るきっかけとなりました。地域の皆様から寄せられる温かい言葉は仲間の自信となり、信頼関係の構築にもつながっています。

また、活動が高齢者の安心につながるだけでなく、利用者自身の成長や自信にも結びついている点が改めて印象に残りました。「普通に話せる」「挨拶が返ってくる」といった小さな気づきが、地域の障害理解を深め、意識を変えていく力になることも実感いたしました。

今回の講義を通じ、地域と共に歩む姿勢こそが共生社会の基盤であることを再確認できました。

(おのころの家管理者 橋詰)

神戸長田ふくろうの杜

〒653-0836 兵庫県神戸市長田区神楽町5丁目3の14の1
 電話 078 798 7940
 FAX 078 798 7941

生きテイ

楽しいクリスマス

久しぶりにビンゴ大会を開催しました。カードを手に、皆さまわくわくした表情でスタート。「リーチ」と早々に元気に手を挙げる方もいれば、「あれ？まだ一つもあかないよ」と笑いながらカードを見つめる方もいて、会場は終始にぎやかでした。数字を読み上げるたびに拍手と笑顔が広がりました。景品を手にした皆さまの嬉しそうな表情がとても印象的でスタッフも思わずにっこり。

ビンゴ大会の後は、甘いお楽しみタイム。1階のお店で購入したチーズケーキを使ってオリジナルのケーキデコレーションを行いました。ホイップクリームやチョコソースにカラフルなトッピングなど、思い思いの材料を手に皆さん真剣な表情でデコレーシ

ョンに挑戦。それぞれの個性が光る手作りケーキが完成しました。完成したケーキを見せ合いながらのテイタムは自然と笑顔がこぼれ、会話が弾みました。久しぶりのビンゴ大会やケーキデコレーションを通して、えがくと笑い声あふれる一日となりました。利用者さまの楽しそうな表情にスタッフ一同元気をいただきました。

みんなで楽しく
クリスマス会

12月16日(火)に毎年恒例のB型と生活介護のクリスマス会を行いました。

なかま相談でどんな食事がいい？ゲームはどうする？と内容を考えました。食事はやっぱり「お寿司がいい！」「チキンもほしい」、ゲームは「電車ゲーム」「ビンゴ」など意見がだされました。ゲームは毎年同じようなものが多いなという事で今年は職員が担当して考えることになり、「お玉でボール運び」と「卓球ボール入れ」「ビンゴ」を行いました。しばらくお休みして数か月ぶりに通所したなかまも最高得点を出して喜んでくれました。

ビンゴゲームの前には、ある職員が新聞を使った一芸も披露してくれました。最後はそうなるのかと驚いて大盛り上がりでした。

もちろん食事もお寿司にオードブル、手作りの茶碗蒸しもついておなか一杯で満足でした。ノンアルコール飲料も飲んで気分はほろ酔い(笑)で楽しみました。

今年も準備からなかまも職員も一緒に頑張りました。笑顔たくさん、職員となかまの「きずな」もきつと深まったはず！今年もあと少し、大掃除の後は皆さんお待ちかねのボーンナスです。お正月はしっかり休んで来年もお仕事もお楽しみも頑張りましょう！

多機能型神戸長田ふくろうの杜

竹原 哲章



←1枚の新聞が、帽子、タオル、おにぎり、船と変化していき、最後はTシャツに。さらには長そでになってびっくり！